

未来は、えらべる！

運のいい人、悪い人は、本当にいるのか

(176)

健——今度は「運」について訊きたいと思います。「世の中には運のいい人と悪い人がいる」と一般的には信じられていると思います。たとえば、シンクロニシティ（共時性、意味のある偶然の一致）をどんどん引き寄せて、チャンスをつかんだり、素晴らしい人たちに出会って、いい人生を送る人がいます。

逆に、たとえば、アメリカであった例ですが一日に5回も交通事故にあつたり、何回も泥棒に入られたり、火事にあつたりする人がいます。

バシヤール——でも、いままで話してきたことで、おわかりいただけましたね。

いいも悪いも、運というものの自体がないのです。人間が考えているような幸運・不運が、ふってわくようにやって来ることはないのです。

ふってわくわけではないので、「事故」はありません。偶然、アクシデント、というものはないのです。

運ではなく、シンクロニシティに、「ポジティブなもの」と「ネガティブなもの」があるのです。

ポジティブな観念やポジティブな選択は、ポジティブなシンクロニシティにつながりますし、「逆もまた真なり」です。出来事が突然ふりかかってくるわけではありません。

健——ということは、その人の考え方や選択によって素晴らしい人生を生きていくことができるし、ごく一般的で言い方ですと、すごくラッキーな生き方をすることは可能だということですね。

バシヤール——はい、その可能性は、全員が等しく持っています。

一日に5回も交通事故に遭遇してしまうような現実をつくっている人は、もしかしたら「目覚めなさい。いままで避けて見てこなかったものにきちんと対峙しなさい」と自分に言うために、その出来事を引き起こしているのかもしれない。

あるいは、「自分は破壊することができない存在である」ということを、非常に創造的な方法を使って、自分自身に見せているのかもしれない。

くりかえしますが、正しく理解するためには、ケースバイケースで見ていく必要があります。その人が何を探究しているのか、見たくないどのような観念があるのか、そして、その結果として、どんなことが現実で起きているのかという具合に見ていく必要があるのです。

起きたこと自体には意味はありません。

「起きたことにどんな意味を持たせるか」によって、その出来事から受け取るものが決まるのです。

健——もともと、交通事故自体に、意味はないということですね。

バシヤール——はい。交通事故そのものに意味はありません。中立的な現象です。もちろん交通事故ですから、もしかしたらネガティブな観念から生まれたものかもしれません。

そうだとすると、出来事はすべて中立で、何も意味を持ちません。

ある出来事を引き起こした考えが何であれ、それを体験している瞬間に、「その出来事にどんな意味を与えたか」が、そこから自分がどんな影響を受けるのかを決めます。

たとえば、本人が怖れに根ざした観念を持っていたために交通事故を引き寄せたとします。

けれども、交通事故を体験している瞬間に、突然、気づきを得て、「この出来事は、私は傷つくことがないし破壊されることもないと私に教えてくれたんだ」と理解することもできるのです。

それが、その人が事故を通して学ぶべき本当のレッスンだったとすれば、その時点でそのレッスンは学び終えたのですから、もう同じような出来事を体験する必要はなくなります。

もし、また似たようなことを体験したときには、「いったん自分が学んだこと以外に何かポジティブなレッスンがあるのだ」と思うことも選択できるのです。

ソウルメイトに最短で出会う方法

健——パートナーシップについて訊きたいと思います。男女関係はもちろんですが、男性同士、女性同士という広い意味でのパートナーシップについても訊かせてください。

私たちが抱えている人生の問題の多くは、お金やパートナーシップ、健康などの分野にあります。お金についてはすでにお話ししていただきました。そこで、次は……。

バシヤール——その前に、ちょっと説明させてください。

健——どうぞ。

バシヤール——人間が体験している、お金、パートナーシップ、健康に関する問題の根っこはすべて同じで、「怖れ」です。みなさんが体験する、あらゆる領域のあらゆる問題の根本は、怖れなのです。

怖れと、怖れによって体験する分離感から来ています。では、続けてください。

健——多くの人がパートナーシップに対していろいろな悩みを抱えていると思います。その中で読者の方が一番訊きたいことはこれだと思うんですが、ソウルメイトというか、素晴らしいパートナーはどのようにして見つけたらいいんでしょうか。

何かいい方法はありませんか。「バシヤール結婚相談所」とか（笑）。何かいいアイデアやヒントがあったらください。

バシヤール——聞きたいですか？

健——もちろんです。

バシヤール——本当ですか？

まず人間関係の目的を理解しなければなりません。

どんな間柄であっても、人間関係の目的は全部同じです。

すべての人間関係において、あなたの相手となる人は、あなたがより自分らしくなっていくための「鏡」として存在しています。

みなさんが「ソウルメイト」と呼ぶ相手を見つけるもっとも簡単な方法は、まず何をおいても、自分自身との関係を強化することです。

たとえば、「パートナーがいないから自分には価値がない。自分には何か欠けているんだ」と思ってパートナーを探すと、その「欠けている」とか「価値がない」という感覚を反映するような相手を引きつけることになります。

けれども、あなたの中にある本当の喜びや情熱を追求して、ひとりでも満たされている状態になると、そのレベルの喜びやハーモニー、満たされた感覚などを反映する相手を引

き寄せられるのです。

この惑星の人は、ときに自分が好まないような周波数の人を引きつけることもあります。それは、「自分はこういう波動を好まない」ということを学び、どのような波動が好みなのかということをはっきりと知るためです。

健——先ほどの自分自身との関係を強化するとは、具体的にはどんなことでしょうか。

バシヤール——それは、「自分の物質次元の意識と、高次の意識のバランスをとる」ということです。

ソウルメイトを引き寄せる前に、ふたつの意識のバランスをとって、まず自分自身との関係を完全なものにする必要があります。

この惑星の多くの人がソウルメイトを理想化し、ロマンチックなものとしてとらえています。

しかし、いま関わっている人がどんな相手であろうと、自分が学ぶべきことをその人から学んでいる限り、少なくとも関わりのある期間中は、その相手は「ソウルメイト」なのです。

みなさんは、そこをまったく見過ごしています。

健——そうか、ソウルメイトとは学びの相手なのですね。

バシャー——たとえばある人が、ソウルメイトとして関わる相手を引きつけたとしましょう。

でも、その相手との間でまったくチャレンジがなく、学びや成長がないかというと、決してそんなことはありません。

また、あなたがどんなに成長したとしても、さらなる学びや成長は、まだまだたくさんあります。

ソウルメイトは、「自分の成長をさらに助けてくれる人」なのです。

もっと厳密に言えば、私たちは「自分自身との関係が完成されていないければ、ソウルメイトを引き寄せられない」と言っているではありません。

でも、少なくとも、「自分自身との関係を完成させたい」という意思がなければ、その部分においてあなたを助けてくれるようなソウルメイトを引き寄せることはできないでしょう。

ですから、自分との完全な関係を持つことに抵抗していると、ソウルメイトが現れるのをはばんでいることになるのです。わかりますか。

未来は、えらべる！ バシャー・本田健